

# PSR-7について

PSR-7では、HTTPリクエスト&レスポンスに関連するインターフェースが定義されています。

- PSR-7: HTTP message interfaces  
<https://www.php-fig.org/psr/psr-7/>

その他、関連するものとして、以下もあります。

- PSR-15: HTTP Handlers
- PSR-17: HTTP Factories
- PSR-18: HTTP Client

## guzzlehttp/psr7を試す(1)

Requestクラスをはじめとする、今回作ったクラスはPSR-7準拠ではありません。

そこで、参考までに、guzzlehttp/psr7というPSR-7に準拠したパッケージを試してみたいと思います。

まず、step9をディレクトリごとコピーして、step16を作ります。



## guzzlehttp/psr7を試す(2)

psr7パッケージをインストールします。

```
> composer require guzzlehttp/psr7 "^1.6.1"
```

## guzzlehttp/psr7を試す(3)

step16/app/Modules/User/Controllers/UserController.php  
を開き、冒頭のuse命令に以下を追記します。

```
use GuzzleHttp\Psr7;
```

# guzzlehttp/psr7を試す(4)

indexActionの内容を以下に置き換えます。

```
/**
 * ユーザー一覧画面のコントロール処理を行う
 */
public function indexAction(): void
{
    // $_GET, $_POST, $_FILESなどのスーパーグローバル変数からオブジェクトを作る
    $request = Psr7\ServerRequest::fromGlobals();

    // 「送信する」ボタンが押下されたときに、このifブロックに入ります。
    // ブロック内のプログラム処理で、実験用の出力を行います。
    if (isset($request->getParsedBody()['send'])) {

        // GETリクエストを出力
        var_dump($request->getQueryParams());

        // POSTリクエストを出力
        var_dump($request->getParsedBody());

        // アップロードされたファイルを出力
        var_dump($request->getUploadedFiles());
    }

    $view = new View(
        __DIR__ . '/../Views/user/index.html',
        __DIR__ . '/../Layouts/layout.html'
    );
    echo $view->render();
}
```

## guzzlehttp/psr7を試す(5)

以下のURLにアクセスして動作を確認してください。

<http://enjoy-eats-step16:8888/user>

## guzzlehttp/psr7を試す(6)

ServerRequestクラスの実体は以下にあります。

`step16/vendor/guzzlehttp/psr7/src/ServerRequest.php`